

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H26決算額(円)	妥当性評価				
内 直接事業費		有効性評価						
				内 人件費	効率性評価			
1	農業の振興	農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。	20,088,630	事務事業評価		農業経営基盤強化促進法に基づき、農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画(農地の売買・貸借)を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図っている。	耕作放棄地を持つ所有者に対し、アンケート調査を実施して、耕作放棄地の農地バンクへの登録希望を確認し、希望する農地を農地バンクに登録した。	農地の貸し手・借り手の情報をより早く把握して、農地の有効利用を行い、地域の担い手へ農地の利用集積を図っていく。
	30101020		2,215,000	農業委員会事務局				
	農地利用集積促進支援事業		17,873,630	菟田 尚史				
			24,571,543	普通				
			2,145,000	高い				
		22,426,543	普通		改善の効果	普通		
2	農業の振興	効率的な農地利用を促進するため、耕作放棄地対策、後継者育成等農家への支援を行うとともに、市民の農業への関心を高める企画・運営等を総合的・計画的に行う。	38,908,201	事務事業評価		・農地バンク事業においては、簡単に耕作再開できるような農地の登録が減ってきている。 ・耕作放棄地の面積は、ほぼ横ばい状態である。	耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業の活用により、農地の有効利用の促進、規模拡大農家への支援を行なった。	・耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業が平成30年度まで延長されたため、引き続き農地の再生のための事業のPRを図る。 ・担い手への農地情報の充実を図るため、農地の「見える化」を進め、HP掲載・メール配信を推進する。
	30101030		4,792,785	産業振興部 営農支援課				
	営農支援課管理運営事業		34,115,416	寺田 昭一				
			60,650,388	高い				
			4,827,654	高い				
		55,822,734	普通		改善の効果	高い		
3	農業の振興	地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを目的に、地域ぐるみで行う草刈、浚渫等施設の維持管理を行う共同活動、及び施設の長寿命化のため補修更新等を行う向上活動を支援する。	39,709,153	事務事業評価		活動組織による農道、水路等の草刈、泥上げ等の実施により、農業用施設の維持管理に対応した。	活動組織に対して、訪問回数を増やし適正に指導した。	市の活動組織への関わり方を支援から指導に移行し、活動組織の自立を図る。また、制度の運用を適正かつ円滑にできるように説明会の充実を図る。
	30101040		30,086,467	産業振興部 農政課				
	農地・水・環境保全向上対策支援事業		9,622,686	石川 恵史				
			61,864,653	高い				
			55,416,038	高い				
		6,448,615	高い		改善の効果	普通		
4	農業の振興	農業生産性の向上と営農経費の節減を図るため、排水路整備、農道整備等を行う農地基盤整備事業を支援する。	31,092,065	事務事業評価		県営事業で行われる農地基盤整備事業に対して、地元等との調整をした。	県、地元、土地改良区との調整により、事業の適切な執行を図った。	事業の適正な執行を図るため、県、地元、土地改良区との調整を行い事業の早期完了を図る。
	30102010		29,212,758	産業振興部 農政課				
	畑地帯総合農地整備促進事業		1,879,307	石川 恵史				
			48,062,625	高い				
			46,802,858	高い				
		1,259,767	高い		改善の効果	普通		
5	農業の振興	農業の生産性の向上、災害防止及び国土の保全を図るため、道路、排水路、その他の土地改良施設の整備を行う。また、土地改良区が事業主体の単県土地改良事業、単独土地改良事業の支援、及び過年度に行われた農道舗装についての地元負担分の農道舗装事業借入金の償還を支援する。	162,822,722	事務事業評価		土地改良区の土地改良施設に対して要望どおり対応が出来ないため、施設の緊急性、有効性及び効率性を考慮して地区選定している。	土地改良区が事業実施にあたり緊急性及び必要性を考慮しながら事業実施した。	土地改良施設の整備を緊急性及び必要性を考慮しながら進めていく。
	30102060		159,451,989	産業振興部 農政課				
	土地改良施設整備事業		3,370,733	石川 恵史				
			178,481,473	高い				
			175,857,996	高い				
		2,623,477	高い		改善の効果	高い		
6	農業の振興	土地改良施設の適正管理を行うとともに、小規模災害等に適応するため、土地改良施設の維持管理を行う。また、土地改良区が事業主体となって土地改良施設維持のために行う単県土地改良事業等を支援する。	42,038,000	事務事業評価		土地改良施設の維持を目的とした施設の改修・修繕を行っている。	土地改良施設の維持管理にあたり、補修等を行い、施設の長寿命化を図った。	土地改良区と調整を取りながら施設維持のための改修を進める。
	30102090		38,637,452	産業振興部 農政課				
	土地改良施設維持事業 (30102090,3010210,30102130)		3,400,548	石川 恵史				
			51,914,678	高い				
			48,177,832	高い				
		3,736,846	高い		改善の効果	高い		
7	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、降雨時の排水機の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器のオーバーホール及び交換等を行う。	30,950,616	事務事業評価		排水機場の機能を適正に維持し、施設の長寿命化を図るため、計画的にオーバーホール等を実施している。	緊急性を考慮しながら計画的な改修を実施した。	土地改良施設維持管理適正化事業等により排水機場の計画的な改修を進める。
	30102100		28,536,391	産業振興部 農政課				
	排水機場等維持事業		2,414,225	石川 恵史				
			50,302,357	高い				
			45,188,158	高い				
		5,114,199	高い		改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
8	農業の振興	農地及び農業用施設等の自然災害を未然に防止し、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全に資することを目的に、緊急に整備を要する、ため池、排水機及び排水路等の農業用排水施設の新設又は改修を行う事業を支援する。	39,272,663	事務事業評価		県営事業で行われる排水機場等の事業に対して地元との調整をした。	青尾新田地区については、平成26年度事業完了に向けて事業を進めた。	農地への被害を防ぐため排水機場等の改修計画を進める。
	30102120		36,595,744	産業振興部 農政課				
			2,676,919	石川 恵史				
	緊急農地防災促進事業 (30102030,30102040,30102120)		80,408,715	高い				
			76,216,704	高い				
		4,192,011	高い				改善の効果	普通
9	農業の振興	土地改良施設の適正管理を図る。また、小規模災害等に適応することを目的として、土地改良施設の維持管理を行う。	1,462,722	事務事業評価		農政課と連携し、土地改良施設の適正な維持管理、樋門等の操作方法の確認、指導等が必要である。	樋門等の操作方法の確認、指導を行うことで警報発令等の緊急時に対応することができた。	自治会等管理委託者に対し、樋門等操作方法を強化し、緊急時における適切な対応を図る。
	30102140		396,011	渥美支所 地域課				
			1,066,711	鈴木 淳一				
	土地改良施設維持事業(渥美支所)		1,266,672	普通				
			412,077	普通				
		854,595	普通				改善の効果	普通
10	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、排水機の降雨時の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器の修繕及び交換等を行う。	38,334,072	事務事業評価		適正に機能を維持し延命するため定期的な保守点検や機器の修繕が必要である。	保守点検や機器の修繕を実施したことにより施設の機能回復が図られ農地等へのたん水被害が防止できた。	定期的に保守点検や機器の修繕を実施し、機場の適正な機能維持、長寿命化を図る。
	30102150		27,232,756	渥美支所 地域課				
			11,101,316	鈴木 淳一				
	排水機場等維持事業(渥美支所)		44,981,835	高い				
			34,705,905	高い				
		10,275,930	普通				改善の効果	普通
11	農業の振興	たはら食育推進計画2016(平成23年度改訂)に基づき、市民、市や関係団体がそれぞれ主体となって様々な取組を行い、食育の普及・啓発を図る。	2,252,269	事務事業評価		たはら食育推進計画2016に定めた指標・目標値等の達成に向け、各分野のさらなる連携、食育の普及・推進が必要である。	関係各課が行動計画を立て、指標・目標値の達成に向け、計画に沿って食育の普及・啓発を行った。さらに、ワーキンググループ会議や検討会議を実施し、連携の促進、情報を共有した。	生活環境の変化に伴い、食生活のあり方、重要性が見直されている。それぞれの分野が一層の活動強化を図るとともに密な連携を行う必要がある。
	30103010		115,311	産業振興部 農政課				
			2,136,958	石川 恵史				
	食育推進事業		4,326,500	高い				
			101,032	高い				
		4,225,468	高い				改善の効果	高い
12	農業の振興	来園者の安全確保と魅力ある公園にするため、施設の維持管理・補修・改善を実施する。また、都市と農村の交流の場や地元農畜産物の振興の場として活用する。	94,936,399	事務事業評価		本市の農業や観光の交流拠点としての役割を担い、多くの来園者に収穫体験や手作り体験等を通して農業のPRを実践した。 ・たはら21新農業プランの実践施設として、農政課や商工観光課と連携をし、充実を図る必要がある。また、施設の老朽化に伴い優先順位をつけて、修繕・改修を行っていく必要がある。	大型遊具や階段の修繕を実施し、来園者の安全確保に努めた。また館内に幼児用スペースを設置したことで雨天時に幼児が遊ぶ選択肢を増やすことができた。	開園以来20年を経過し、施設の老朽化が目立っている。施設の修繕補修と合わせ、サラダ館内のパソコン機器等のリニューアルを検討していく。また、リピーターを増やすために、収穫体験や体験教室の充実を図っていく。 ・チューリップフェアに続き、アジサイフェアが開催できるように、園内にアジサイを植栽していくとともに、鉢物部会のアジサイ祭りや連携を図っていく。
	30103020		47,838,364	産業振興部 農業公園管理事務所				
			47,098,035	大谷 和正				
	芦ヶ池農業公園運営事業		113,833,238	高い				
			64,459,781	高い				
		49,373,457	高い				改善の効果	高い
13	農業の振興	イベントの実施やPR活動により、市民の憩いの場としての定着化や観光施設としての集客向上を図る。また、各種事業のイベント会場として活用する。	20,528,326	事務事業評価		来園者への聞き取り結果では、ホームページやチラシ、新聞広告を見ての来園者が多い。雑誌やPR誌など無料掲載の媒体を活用し、来園プレゼントを行った。田原市の農業や観光のPR拠点として、イベント等の充実をしていく必要がある。	・チューリップフェアで、豊橋市のこども未来館ここにこ連携し、PRを行った。 ・新聞社への情報提供や雑誌等掲載を活用し、無料でできるPRを行った。	・豊橋市のこども未来館ここにこ連携し、出張工作教室の開催や花の展示等のPR活動をしていく。 ・新聞やテレビ、雑誌等メディアへの情報発信に努める。 ・ホームページやブログでリアルタイムの情報発信をし、来園者へのPRを図る。
	30103030		6,402,337	産業振興部 農業公園管理事務所				
			14,125,989	大谷 和正				
	芦ヶ池農業公園PR事業		17,709,083	高い				
			5,773,564	高い				
		11,935,519	高い				改善の効果	高い
14	農業の振興	地域農業の活性化を図るため各種補助事業を実施するとともに、国内外への販路拡大、産地競争力の強化、地域農産物の普及啓発、先進技術の導入などに関する事業を実施することで地域農業の発展に寄与する。	55,362,411	事務事業評価		地域農産物の消費拡大を図るため、JAや関係団体と連携してPR活動を実施している。また、地域農業の課題解決のため、農業者からの提案による取り組みに対して支援を行っている。	花卉振興のため、フラワーアレンジメント教室、フラワーバレンタイン等のイベントを開催するとともに、アニバーサリーフラワーやピクニックブーケにより花の普及啓発を図った。	各種補助事業等により産地の競争力を高めるとともに、JA、生産者等と協力して地域農産物の普及啓発事業の充実を図っていく。
	30104010		26,367,509	産業振興部 農政課				
			28,994,902	石川 恵史				
	農業経営活性化事業		75,545,472	極めて高い				
			41,766,269	高い				
		33,779,203	高い				改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
15	農業の振興	国の米政策に基づき、田原市地域農業再生協議会を通じて主食用米の生産数量目標の配分や情報提供等を行い、米の需給及び価格の安定と水田の有効利用を図る。	7,755,094	事務事業評価	主食用米の生産数量目標の達成を目指すとともに、地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく地域振興作物等の栽培による、食料自給率の向上を図っている。	生産組合長を通じて制度の周知を図るとともに、制度加入の受付会を開催し、補助事業の活用を促した。	国の米政策を分かりやすく生産者に伝え、事業の有効活用に努める。	
	30104020		2,146,000	産業振興部 農政課				
	経営所得安定対策推進事業		5,609,094	石川 恵史				
			7,680,783	普通				
			2,628,000	普通				
	5,052,783	普通						
						改善の効果	普通	
16	農業の振興	畜産の伝染病は、発生農家はもとより産地として大きなダメージに繋がる。家畜の法定伝染病等の自衛防疫を促進するとともに、良質な畜産物を生産し、家畜飼養農家経営の安定と健全な発展を図る。	8,100,170	事務事業評価	伝染病は一度発生すると、容易に他へ感染してしまうことから、防疫対策は、市内畜産農家が同じ危機意識を持って一丸となって取り組む必要がある。農家によって意識や対応に差異があるため、より高い防疫意識の高揚を図る必要がある。PEDが多く発生したため、市とJAで消毒ポイントを設置し、緊急防疫対策を行なった。	防疫意識の高揚を図るため、研修会の開催や防疫ニュースを発行した。さらに養豚に関しては、防疫対策の独自組織を立上げており、農家の防疫意識も高まっている。また防疫協議会で緊急防疫対策に対する資材の購入を促進した。	伝染病予防は農家の自己防疫が要となるため、田原市家畜防疫対策協議会と協力し、今後も農家の防疫意識の高揚を図る。実際の防疫作業ではスムーズな初動体制ができるよう整備を図る。緊急防疫対策に必要な資材の確保を図っていく。	
	30104030		5,084,302	産業振興部 農政課				
	家畜伝染病予防支援事業		3,015,868	石川 恵史				
			12,048,446	普通				
			5,831,935	高い				
	6,216,511	普通						
						改善の効果	普通	
17	農業の振興	農業者の老後に必要な農業者年金の給付に必要な諸届受付を行い、その老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業の担い手を確保し、農業の生涯所得の充実を図る。	1,224,046	事務事業評価	農業者の老後に必要な農業者年金の給付に必要な諸届受付を行い、その老後の生活の安定及び福祉の向上が図られている。また、加入者においては、農業の担い手が確保され、農業者の生涯所得の充実につながっている。	農業委員会だよりで制度を説明し、窓口でのチラシ配布により制度の周知を図った。また、加入推進を図るため、農業委員への制度説明会を実施した。	農業委員会だより・各種会議・制度説明会などを通して、農業者年金の有利さをPRし、農協や農業委員と連携して加入推進を図っていく。	
	30104040		504,249	農業委員会事務局				
	農業者年金推進事業		719,797	菟田 尚史				
			1,001,802	普通				
			180,989	普通				
	820,813	普通						
						改善の効果	普通	
18	農業の振興	畜産業の持続的な振興と畜産農家の経営安定を図ることを目的に、畜産業に関する諸問題の解決に取組み、地域と共存する畜産経営環境を整備する。	15,146,144	事務事業評価	畜産由来の諸問題の解決を図ることにより、地域と連携のとれた畜産経営環境を整備し、畜産業全体の振興を図る。	平成25年度に引き続き畜産農家の協力のもと、悪臭対策の実証実験を行い、悪臭対策の効果と費用対効果の把握を行なった。後継牛確保対策として補助制度を策定し経営効率を高め、生乳生産の拡大を図った。	悪臭対策実証試験で得た効果等について、よりの確な費用対効果を把握し、畜産農家への情報発信に努める。畜産飼料循環モデル補助や自給飼料等促進補助を策定し、畜産振興と経営安定を目指す。	
	30104050		11,122,310	産業振興部 農政課				
	畜産振興事業		4,023,834	石川 恵史				
			13,860,635	普通				
			9,687,628	普通				
	4,173,007	普通						
						改善の効果	普通	
19	農業の振興	農業者の高齢化が進む中、やる気のある担い手に対する支援を実施することで、人づくり及び連帯感の醸成を図るとともに、農業団体への指導及び助成により、地域農業の発展に寄与する。	10,245,519	事務事業評価	農業の担い手で組織する農業者団体への支援により、農業者間の情報共有や課題解決への取り組みが進んでいる。田原農業改良普及課やJAと連携して適切な運用を行い、田原市農業の担い手の中心となる農業者の育成を継続する必要がある。	地域農業の課題を解決するため、農業者自らが農業先進地への視察や研修等を行った。農業の中心担い手の育成に繋がる人づくりに寄与し、持続的な地域農業の振興に繋がっている。	田原農業改良普及課やJAとの緊密な連携により、農業者間の情報共有を図るとともに、課題解決への継続的な取り組みを促進していく。	
	30105010		2,632,806	産業振興部 農政課				
	担い手支援事業		7,612,713	石川 恵史				
			12,589,826	高い				
			3,626,208	普通				
	8,963,618	普通						
						改善の効果	高い	
20	農業の振興	農業生産における化学肥料、農業資材、農薬等の使用による環境への影響を軽減し、環境保全と生産性の維持・向上との調和が可能な環境保全型農業を農業者、農業団体及び市が一体となって推進する。	34,110,324	事務事業評価	消費者が農産物に求める環境問題や安全・安心などに確実に対応し、低農薬栽培のクリーンな産地イメージを向上させる必要がある。	生産現場での無農薬、適外用農薬使用禁止等の意識高揚に効果があり、消費者へ安全・安心な農産物を提供することができた。	過剰な補助とならないよう、関係機関と連携・調整し、さらなる事務の合理化、人的支援の削減等に努め、各種補助事業の補助率の妥当性について検討する。また、国の補助金との調整を図る。	
	30106020		29,507,840	産業振興部 農政課				
	環境保全型農業支援事業		4,602,484	石川 恵史				
			36,977,132	高い				
			31,072,680	高い				
	5,904,452	高い						
						改善の効果	高い	
21	農業の振興	畜産経営において、負担が大きい糞尿処理に対し施設改修等の支援措置を講ずることで、糞尿処理の適正管理及び畜産農家の経営安定を促進し、畜産業の健全な振興を図る。	7,742,791	事務事業評価	畜産農家の糞尿処理施設の改修並びに小規模農家等のエコセンター利用の促進を行ない、野積み、排水対策、臭気問題等に対応し、経営安定を図った。	小規模農家の糞尿処理に欠かせないエコセンターの利用について、流通を促進させることで、更なる利活用の向上を図った。	本事業を持続的に実施し、エコセンターの更なる流通、利活用の推進を図り、施設の老朽化についても対応できるように検討する。臭気対策として、家畜飲水添加飼料の補助をし、臭気対策のより良い方法を調査する。	
	30106030		5,418,000	産業振興部 農政課				
	家畜糞尿処理支援事業		2,324,791	石川 恵史				
			4,271,624	普通				
			3,243,900	普通				
	1,027,724	普通						
						改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H26決算額(円)	妥当性評価				
		内 直接事業費	有効性評価					
		内 人件費	効率性評価					
22	水産業の振興	水産物の安定供給を目指し、「とる漁業」から「育てる漁業」への転換を図るため、漁業組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を目指す。	11,206,669	事務事業評価		全国的にあさりの漁獲量が減少している。水産物の安定供給を目指し、「とる漁業」から「育てる漁業」への転換を図る必要がある。	自然環境の変化で、安定的な水産資源確保が困難な中、種苗放流事業は漁業経営の安定対策として有効に機能している。漁業者が「ケアシェル」など有益な事業である「育てる漁業」を始めた。	水産物の安定供給を目的とした栽培漁業を積極的に実施し、水揚げ量の確保と商品価値の高いあさりの出荷を目指す。岩の清掃を行ない、あさりだけでなく、貝類・藻類の定着の促進を図る事業などを行っていく。
	30201010		6,598,000	産業振興部 農政課				
	栽培漁業振興支援事業		4,608,669	石川 恵史				
			11,277,321	高い				
			7,850,000	高い				
		3,427,321	高い			改善の効果	高い	
23	水産業の振興	漁業者・漁業関係団体が漁業経営の活性化、漁場環境の改善を図るために行う「水産多面的機能発揮対策事業」に対し、国、県とともに支援し、漁場環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。	6,903,878	事務事業評価		水産業と漁村の多面的機能を発揮するため、漁業者・漁業関係団体が取り組む活動を支援している。漁業環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。また、非漁業者の団体等が行う漁場清掃を支援し、動植物の保護、環境保全意識の高揚を図る。	漁場の耕うん、有害生物の駆除等を実施し、漁場の美化、底質の改善等が図られた。また、漁場の清掃により、動植物の保護に寄与した。	漁業経営の活性化のため、干潟等の地域資源の維持・回復を図る。 ・漁場の清掃活動を行い、動植物の保護、環境保全意識の高揚を図る。
	30202010		1,525,365	産業振興部 農政課				
	漁業者・団体支援事業		5,378,513	石川 恵史				
			4,782,365	高い				
			772,984	高い				
		4,009,381	高い			改善の効果	高い	
24	水産業の振興	姫島漁港の維持管理を委託し、良好な漁港環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	8,425,326	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。
	30203010		8,190,282	都市建設部 維持管理課				
	姫島漁港管理事業		235,044	杉原 雅彦				
			9,027,483	普通				
			8,679,282	普通				
		348,201	普通			改善の効果	普通	
25	水産業の振興	宇津江漁港の維持管理を委託し、良好な漁港環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	874,044	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。
	30203020		639,000	都市建設部 維持管理課				
	宇津江漁港管理事業		235,044	杉原 雅彦				
			1,173,117	普通				
			786,000	普通				
		387,117	普通			改善の効果	普通	
26	水産業の振興	漁港利用者が安全かつ快適に利用できるよう市管理漁港施設の維持補修及び改良等整備を行う。	47,709,794	事務事業評価		・宇津江漁港海岸緑地施設が平成23年度の台風12号被害以降毎年の台風被害により復旧事業が完了しないままの危険かつ利用できない施設となっている。 ・海岸緑地レクリエーション施設として利用再開が期待されている。	毎年の台風被害により従来施設が新たに被害を受け事業完了予定は遅延したが、施設の強化を図った改良復旧箇所では被害発生も無くその耐久性が確認されている。	平成27年度に被災箇所復旧を完了し、供用再開を目指す。
	30203030		44,389,800	都市建設部 土木課				
	漁港整備事業		3,319,994	河邊 功治				
			33,245,745	極めて高い				
			30,045,560	高い				
		3,200,185	普通			改善の効果	高い	
27	水産業の振興	市管理漁港の利用者が、環境・衛生面等で快適に利用できるように施設内にある公衆便所等の適正な維持・管理を行う。	8,049,427	事務事業評価		漁港利用者が安心・安全に漁港施設を利用できるよう維持管理に努める。	台風時に被災した漁港内道路の復旧や車止めの設置により、漁港施設の良好な維持管理を行った。	老朽化の進む漁港施設の適正な維持管理のため、漁港機能保全計画を策定し、保全工事を視野に入れた漁港施設の維持管理が必要。
	30203040		2,542,370	都市建設部 土木課				
	漁港管理事業		5,507,057	河邊 功治				
			19,941,414	高い				
			8,813,494	高い				
		11,127,920	普通			改善の効果	高い	
28	工業の振興	企業誘致を図るため、企業の立地動向を把握するとともに、企業誘致にかかわる関係機関と連携し、国内外に本市企業用地情報を発信する。	7,855,887	事務事業評価		・本市の地域特性等を活用しながら、将来性のある事業分野や技術革新を試みる企業等に対して、企業立地動向の専門機関等と連携し、分譲地や空工場に関する情報発信を展開している。 ・革新的技術や特許をインセンティブに付与する等、他地域と異なる誘致活動、或いは魅力ある誘致材料の補強が必要である。	・誘致材料の補強に繋がる革新的技術の確立において、それに特化した研究団体の組織化を確立するに至る。 ・組織のもと、研究着手から平成30年度を目処に、成果を挙げる研究が展開中である。	・産学官連携等により、対企業に魅力的な技術的革新を作り上げると共に、他市と異なる誘致材料を強化して、企業誘致に結び付ける取組を推進する。 ・誘致材料を補強する研究、或いは特許関連は、本市産業の将来性に必要な分野に限定し、最小投資で最大効果を得るように取り組む。
	30301010		686,783	政策推進部 企業立地推進室				
	立地戦略推進事業		7,169,104	大羽 浩和				
			6,193,811	高い				
			722,562	普通				
		5,471,249	高い			改善の効果	高い	

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)			
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名							
事務事業名		本市の産業振興と地域活力を増進するため、臨海部に企業の誘致を図るとともに、東三河5市が連携した企業誘致の活動を行う。	H26決算額(円)	妥当性評価							
			内 直接事業費	有効性評価							
			内 人件費	効率性評価							
29	工業の振興		22,726,093	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部分譲地に企業の誘致を図り、地域雇用や税収の確保に繋がる事業を市独自で実施、或いは愛知県をはじめ東三河4市を巻き込んで展開している。 ・各種誘致イベントは、企業誘致の推進を図ると共に地域資源の魅力発信等にも努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな企業訪問先を確保し、将来を見越した情報交換に取組んでいる。 ・これまで誘致対象となない業種(企業)と接触することにより、これまで以上に立地検討のテーブルに挙がるケースが多くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地による雇用、税収拡大に留まることなく、新規立地の効果が行政コストの削減、或いは行政や地域課題の解決に繋がる企業誘致活動を推進する。 			
	30301020		8,478,602	政策推進部 企業立地推進室							
	誘致活動事業		14,247,491	大羽 浩和							
			18,073,239	高い							
			7,823,549	普通							
		10,249,690	高い								
30	工業の振興	田原市企業立地奨励金交付要綱等に基づき、進出企業の初期及び拡張投資の支援を図り、本市への企業立地を促進する。また、臨海部に立地した企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動支援を行う。	852,636,653	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・新規立地等の企業に奨励金制度を適用し、立地し易い支援策をもって、新規立地を推進している。 ・企業主体の幹線道路会議等の開催や国、県に対する要望活動により、港湾背後圏の道路アクセスが改善(臨港道路の渋滞改善、R23号BPの早期開通など)している。 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災以降、臨海分譲地を回避する企業の立地動向に変化がない中、内陸として位置付ける蒲井区画整理組合に対する県の支援策を付加させた取組を実施し、併せて中小企業の立地し易い小面積等をアピールした誘致活動を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業の立地動向や必要性に応じて、本市支援策の拡充に努める。 ・田原臨海部に立地する企業の操業支援を行う上で、特に道路インフラの改善に努める必要があるため、そのために必要とされる事業立案や要望活動等の強化に努める。また、大規模災害に備え企業防災に対するソフト対策の充実に努める。 			
	30301030		847,764,000	政策推進部 企業立地推進室							
	立地誘導・活動支援事業		4,872,653	大羽 浩和							
			112,859,308	高い							
			110,593,110	普通							
		2,266,198	高い								
31	工業の振興	重要港湾三河港の整備・振興を図るため、国・県・関係団体への要望活動、振興PR事業の実施や自動車港湾としての特性を高める諸活動を行う。	8,378,295	事務事業評価		港湾機能の拡充整備に向け、補助事業の指標となるコンテナ取扱量を拡大するため、新規荷主及びコンテナの確保に取組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主、船主が求めるコンテナ荷役の効率化とスピード感を確保するため、老朽したストラドルキャリアを更新し、港機能の強化を図った。 ・三河港及び田原港の機能拡充と背後圏に立地する企業群のインフラ環境の向上に向けて、国県等に要望活動を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> コンテナ取扱量を確保するため、地元企業に限らず西三河、或いは静岡県等から新規荷主の確保に努める。 			
	30302010		1,287,480	政策推進部 企業立地推進室							
	三河港振興事業		7,090,815	大羽 浩和							
			14,036,081	高い							
			5,478,956	高い							
		8,557,125	普通								
32	商業の振興	商工業の振興を図るため、中小企業者が運転資金等を円滑に確保できるよう、愛知県と協同して市内13店舗の金融機関に資金を預託するとともに、融資を受けた際の利子補給を行う。また、6次産業化・農商工連携を積極的に推進することで、地域産業の活性化を図る。	112,163,394	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の持続性を高めるため、中小企業者が行う地域資源を活かした新たな事業展開の取組を促進していく必要がある。 ・引き続き、中小企業者は厳しい経営環境にあることから、今しばらくはセーフティネットを継続する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化起業塾に上級者向けを追加。 ・中小事業者チャレンジ支援補助制度を新設し、中小企業者が実施する新たな取組を支援した。 ・商工金融利子補給の補助率の維持を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、6次産業化等の活動を促進するとともに、中小企業者による、新たな事業開発や設備投資等のチャレンジを促進する。 ・商工会・金融機関と連携して創業支援事業計画を策定し、市内における起業・開業を促進する。 			
	30401010		104,018,023	産業振興部 商工観光課							
	中小企業活性化支援事業		8,145,371	河邊 俊和							
			109,526,762	極めて高い							
			99,749,875	普通							
		9,776,887	普通								
33	商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わい創出イベント等を実施して中心市街地の魅力を高め、「田原市の顔」づくりに努めるとともに、地域でのまちづくりを担う人材、組織の育成を図る。 	16,128,436	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の魅力を高め、集客力の向上を図るため、地域の商店を巻き込み回遊性を高める賑わいイベントが必要である。 ・民間主体の賑わいを創出する取り組みを、さらに発展させていく必要がある。 ・平成26年度・平成27年度の2年間で、中心市街地活性化基本計画と田原市街地まちづくりビジョンの策定を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいイベントへの地域の商店の参加を促し、回遊性のあるイベントとなるよう取り組んだが、商業の活性化まではむすびづいていない。 ・民間主体のまちおこしの取り組みが広がり、参加する商店の連携も生まれ、民間企画のイベントを実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのまちづくりを担う人材、組織の育成をかねて、商店をまきこんだ賑わいイベントへの転換を図る。 ・賑わいイベントや民間主体の取り組みの認知度をさらに高め、参加店舗や参加者数を増加させる。 ・中心市街地の魅力を高めるためのハード事業、ソフト事業等を検討し、中心市街地活性化基本計画や田原市街地まちづくりビジョンを策定し、実施していく。 			
	30402010		8,781,510	都市建設部 街づくり推進課							
	中心市街地活性化推進事業		7,346,926	柴田 高宏							
			31,851,488	高い							
			19,206,950	高い							
		12,644,538	普通								
34	商業の振興	市内中小企業者の経営の改善を図るため、その指導機関である田原市商工会及び渥美商工会に対して助成を行い、中小企業者の指導育成を行う。また、安全で快適な環境を保つとともに、中心市街地の活性化を図る目的を以って、街路灯の維持管理費や商店街の催事、共同宣伝への助成を行う。	47,040,835	事務事業評価		現状では田原・渥美の2つの商工会、カード事業組合となっており、それぞれの活動に差異があることから、市が一体となった産業振興施策の立案が課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、補助事業の適正化を図るため、補助内容の精査を行った。 ・両商工会・カード事業組合の一体的な活動を促進するため、商工業振興施策に係る両商工会検討会議を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 両商工会・カード事業組合の会員相互の交流を図り、将来的な一体化の機運を醸成するため、共同事業の実施等を促進する。 			
	30403010		42,419,208	産業振興部 商工観光課							
	商業団体支援事業		4,621,627	河邊 俊和							
			50,870,853	極めて高い							
			46,130,830	普通							
		4,740,023	普通								
35	観光の振興	田原市内における観光事業を推進することで、国内外からの誘客を図る。また、地域間交流の拡大と広域観光の推進を図るため、愛知県観光協会、東三河広域観光協議会等に参画する。	57,088,760	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業の振興による交流人口の拡大は不可欠であることから、近隣自治体との連携を図りながら、多様な観光客のニーズに対応する観光メニューの造成を図る必要がある。 ・観光受け入れ体制づくりのため、観光事業に携わる人材育成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GOGO三河湾協議会、鳥羽伊良湖観光交流事業など、新たな近隣自治体との連携事業を実施し、広域観光を推進した。 ・田原市観光基本計画を改定し、新たなアクションプランを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田原市観光基本計画に基づき、観光推進体制を確立し、アクションプランを実践する。 ・観光おもてなし大学等を開催し、市内観光の担い手づくりを行う。 ・広域連携を図り、新たな観光ルート造成を行う。 			
	30501010		38,587,357	産業振興部 商工観光課							
	観光推進事業		18,501,403	河邊 俊和							
			64,101,537	極めて高い							
			39,214,478	極めて高い							
		24,887,059	高い								

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
36	観光の振興	道の駅(田原めつくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト)及び田原駅(新駅舎情報交流室)を適正に管理運営することで、田原を訪れる観光客の利便を図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	32,204,551	事務事業評価		・観光客に対するイメージ・サービスの向上を図るため、老朽化した施設及び機器の補修や更新を計画的に行う必要がある。 ・観光客及び市民に対する道の駅の役割等を見直し、新たな魅力付けを検討していく必要がある。	交流ひろばの空調の点検や清掃、道の駅の空調改修や防犯カメラの設置の他、修繕に対応し施設の適正な管理を図った。	道の駅のあり方の見直しを図ると共に、計画的な改修等を行うことで、道の駅の目的型観光施設としての魅力を高めていく。
	30502010		28,288,813	産業振興部 商工観光課				
	観光情報サービスセンター運営事業		3,915,738	河邊 俊和				
			53,064,703	極めて高い				
			50,853,113	極めて高い				
		2,211,590	高い					
						改善の効果	高い	
37	観光の振興	太平洋、三河湾が一望できる蔵王山展望台利用者の利便の向上を図るため、平成6年4月に建設した蔵王山展望台施設(鉄骨造4階建)、及び展望台周辺の園地等の適正な管理運営を実施する。	68,231,042	事務事業評価		施設の老朽化、テナントの退店、樹木の繁殖による景観阻害等により蔵王山展望台の魅力が低下していることから、施設・周辺環境の修繕・更新等を行い、田原市観光の導入部としての魅力の向上を図る必要がある。	蔵王山展望台のリニューアル、屋外トイレの新設を行うとともに、施設・園地等の適正な管理を行った。	引き続き、施設・園地の適正な管理運営を行うとともに、施設リニューアル後に継続的な集客が続くよう、観光メニューの開発に取り組む。
	30502020		64,059,584	産業振興部 商工観光課				
	蔵王山展望台運営事業		4,171,458	河邊 俊和				
			29,130,198	極めて高い				
			21,830,428	極めて高い				
		7,299,770	高い					
						改善の効果	高い	
38	観光の振興	環境対策のシンボルとして、平成13年に蔵王山展望台に整備した風力発電施設(定格出力300KW、想定発電量65万KWh)が正常に稼動するよう適正な維持管理を実施する。	7,044,741	事務事業評価		風力発電施設の適正な管理運営を図るとともに、老朽化による機器の計画的な保守・更新を行う必要がある。	機械部品・電気部品等の点検・更新を実施し、年間稼働日数の拡大に努めた。	・発電施設の稼働年数の延伸を図るため、計画的な機器の更新に努める。 ・地元業者に保守業務を委託することで、管理費用の縮減を図る。
	30502030		4,854,496	産業振興部 商工観光課				
	蔵王山展望台風力発電運営事業		2,190,245	河邊 俊和				
			12,524,520	普通				
			11,090,074	普通				
		1,434,446	普通					
						改善の効果	高い	
39	観光の振興	城下町文化の粹である山車・けんか風を展示紹介する田原まつり会館を適正に管理運営することで、田原の伝統文化である田原祭り、田原風のPRを図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	6,393,021	事務事業評価		施設の適正な維持管理を図るとともに、施設の効果的PRを実施し、観光客の増加を図る必要がある。	施設の保守点検、警備など適正な管理運営を行った。	・施設の老朽化に伴う修繕に対応し、適正な管理運営に努める。 ・施設への集客効果を高めるため、他の観光資源と連携した周遊コースの設定など、効果的なPRを検討する。 ・施設内照明施設のLED化。
	30502040		3,473,282	産業振興部 商工観光課				
	田原まつり会館運営事業		2,919,739	河邊 俊和				
			8,898,076	普通				
			4,283,511	普通				
		4,614,565	普通					
						改善の効果	普通	
40	観光の振興	サーファー、観光客等、太平洋ロングビーチ観光便益施設(管理棟、多目的トイレ1基、男子更衣室:トイレ5基(小3基・大2基)、温水シャワー3基、女子更衣室:トイレ4基、温水シャワー3基)利用者の利便を図るために適正な維持管理を実施する。	4,370,154	事務事業評価		施設の適正な維持管理を図るとともに、施設の効果的PRを実施し、観光客の増加を図る必要がある。	施設の定期点検、清掃管理など適正な管理運営を行った。	・施設の老朽化に伴う修繕に対応し、適正な管理運営に努める。 ・わかりやすい案内看板等を設置する他、施設のPRを図り、利用率の向上を図る。
	30502050		3,744,306	産業振興部 商工観光課				
	ロングビーチ管理棟管理事業		625,848	河邊 俊和				
			4,485,118	極めて高い				
			3,877,445	高い				
		607,673	高い					
						改善の効果	普通	
41	観光の振興	観光地の公衆便所、駐車場、園地等を適正に維持管理することで、観光客等の利便を図る。	17,379,335	事務事業評価		・本市の観光イメージの向上のため、観光地の清掃や便益施設等の適正な管理を行う必要がある。 ・観光トイレは施設ごとに利用率に大きな差があるため、施設の集約化を図るとともに、利用率の高いトイレのグレードアップにより、観光客の快適性の向上と施設管理の効率性の向上が必要となっている。	・観光トイレ、駐車場、園地等の清掃、草刈、剪定等を行い、観光客の利便性と快適性の向上に努めた。 ・県補助事業により、海水浴場への海岸漂着物の回収処理を行った。	・観光トイレの修繕に随時対応すると共に、利用率の高い観光トイレに関しては洋式化やグレードアップを図る。 ・園地等は植栽木の定期的な剪定等により快適な環境の維持に努める。
	30502060		14,806,242	産業振興部 商工観光課				
	観光地維持管理事業		2,573,093	河邊 俊和				
			20,491,351	極めて高い				
			18,231,337	高い				
		2,260,014	高い					
						改善の効果	高い	
42	観光の振興	田原市の観光魅力度の向上を図るため観光施設の整備拡充、修繕等を実施することにより、観光誘客及び観光客の利便を図る。	50,328,389	事務事業評価		本市を訪れた観光客の立ち寄り場所の拡大や滞留時間の延伸を図るため、観光施設の計画的な改修や整備を行い、本市観光の魅力を高める必要がある。	・案内看板の更新、トイレの新設等施設の改修を行い、観光客の快適性・安全性の向上を図った。 ・蔵王山展望台など観光施設の魅力向上のため、観光道路や蔵王山山頂付近の雑木の抜倒・剪定等を実施した。	・観光地の魅力向上のため、引き続き、観光地の施設の計画的な更新を図る。 ・観光基本計画を基に、地域資源の活用など新たな観光資源の造成について検討する。
	30502070		43,266,195	産業振興部 商工観光課				
	観光施設整備事業		7,062,194	河邊 俊和				
			217,594,745	極めて高い				
			204,938,914	極めて高い				
		12,655,831	極めて高い					
						改善の効果	高い	

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
43	観光の振興	魅力ある観光まちづくりを推進するために渥美半島観光ビューローの支援を行い、官民協働による観光及びレクリエーションの活動の振興を図る。	61,360,697	事務事業評価		観光産業だけでなく、他業種の事業者を加入するなど会員を拡充し、他産業との連携を図っている。 ・会員の経営はもとより、地域産業の活性化につなげることが課題となっている。	・官民協働により観光客の増加に繋げるイベント等を実施した。 ・他産業との連携による観光メニューの造成を図った。	・観光ビューローの事務局機能の強化及び自主財源等の拡大等を支援する。 ・観光推進体制のなかにおける、行政と観光ビューローの役割を明確化し、連携を図る。
	30503010		50,000,000	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	観光団体活動支援事業		64,782,791	極めて高い				
			49,400,000	高い				
			15,382,791	普通				
44	観光の振興	市民まつりを開催する田原市民まつり推進協議会の活動を支援することで、市民相互の融和と市民意識の高揚を図る。	20,028,774	事務事業評価		・運営方法を見直したことで、参加者から概ね好評を得た。 ・企画提案型としたため、募集締切まで企画数の把握ができない。また、イベントが継続して出てくるか不明なため、集客力を維持できるか未知数である。	・これまでの部会制を廃止し、やりがいを持って参加してもらうため、市民からの企画提案型で開催した。 ・会議内容の見直しを行い、開催回数を減らしたほか、開催することが目的化されていたイベントを廃止したことで、参加者の負担軽減につながった。	当面の間は現在の運営方法で実施するため、研究会、実行委員会、ボランティアからの意見を通して問題を洗い出し、参加者により楽しんでもらえるよう改善を加えていく。
	30503020		11,159,424	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	市民まつり支援事業		15,009,864	普通				
			9,099,000	普通				
			5,910,864	普通				
45	観光の振興	サーフィン世界大会を開催する実行委員会を支援することにより、田原市の魅力を世界中に発信するとともに海岸環境の美化活動を推進する。	3,370,977	事務事業評価		世界大会の開催により、多くの国・地域の人々が田原市を訪れる機会の拡大につながるとともに、インターネット等を通じて広く田原市のイメージの発信が行われ、田原市の知名度の向上につながる。	平成26年度は、主催者の事情により大会が行われなかったため、事業費(補助金)の支出がなかった。	引き続き世界大会の開催を支援し、サーフィンが盛んな街としてのイメージを発信し、多くのサーファーが訪れる街づくりを進めていく。
	30503030		3,000,000	教育部 スポーツ課	大羽 耕一			
	サーフィン世界大会支援事業		0	高い				
			0	普通				
			0	高い				
46	観光の振興	トライアスロン伊良湖大会を開催する実行委員会の活動を支援し、大会開催を地域の産業振興とスポーツ振興を図り、会場となる伊良湖岬周辺の魅力発信と地域の活性化につなげる。	19,028,136	事務事業評価		・地域資源を活用した大会を開催して全国から参加者を誘客することで、地域の活性化を図るとともに、スポーツの振興を図ることを目的として実施している。 ・実行委員会が主催者として大会内容を検討しているが、今後もより地域産業の活性化を実現できる大会としていくため、工夫を重ねていく必要がある。	・平成25年度に引き続き、地域のNPO団体に運営を委託して、地域の主導による大会運営を行った。 ・民間に運営業務を移行したことで、協賛金も増額し、大会内容の充実を図ることができて、参加者からの評価も向上した。	・引き続きNPO団体の運営をサポートしながら、ボランティアスタッフが担ってきた準備作業等を地域の業者委託とし、大会運営費を地域内で循環させる。 ・大会開催効果を地域に循環させるため、市内の事業所等との連携を行い大会内容をより充実させていく。 ・スポーツ事業の活性化を図るため、トライアスロン大会を活用していく取組が必要である。
	30503040		11,000,000	教育部 スポーツ課	大羽 耕一			
	トライアスロン大会支援事業		8,028,136	高い				
			13,000,000	普通				
			19,072,348	普通				
47	労働環境・消費生活の充実	市内に在住する勤労者への資金の融資を円滑にし、生活及び福祉の向上を図るため、東海労働金庫豊橋支店に資金を預託するほか、勤労者の団体が実施する福祉事業への助成を行い、勤労者の健康の増進と福祉の向上を図る。	21,810,869	事務事業評価		融資制度に関しては、一定の利用が図られている。また、補助制度等は他市とも協調しながら実施している。	引き続き、支援制度等の適正な運用に努めた。	関係自治体とも調整を図りながら、補助制度の運用方法の見直し等に努める。
	30604010		20,657,400	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	勤労者支援推進事業		22,122,197	普通				
			20,645,000	普通				
			1,477,197	普通				
48	労働環境・消費生活の充実	田原市地域職業相談室において、求職者への求人情報の提供を行うほか、求人企業の求人申込の受付を行うことにより、求人求職業務窓口の充実を図る。また、雇用情勢が引き続き厳しい状況を踏まえ、緊急雇用対策を実施し、雇用の場の確保を図る。	30,223,585	事務事業評価		・当地域は全国水準と比べ、比較的高い求人倍率で推移しており、一時期と比べると雇用環境は安定しつつある。 ・今後は、高齢者や女性など新たな働き手の開拓が課題である。	田原市地域職業安定所の運営を支援した。	当地域の主力産業である農業分野における雇用等を働きかけ、高齢者や女性などの働く場の拡大に努める。
	30605010		23,605,317	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	雇用推進事業		6,618,268	極めて高い				
			3,239,720	高い				
			379,398	高い				
49	労働環境・消費生活の充実	地域住民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識を高め、消費者トラブルの防止を図る。また、金融広報活動及び消費者教育活動の促進を図る。	5,358,799	事務事業評価		・消費者相談窓口や弁護士による法律相談により相談業務を実施するとともに、消費生活講座や生活学校の活動を支援し、市民の消費に係る知識の向上を図った。 ・消費者相談業務は、広域連合への移行が予定されているが、東三河地域内に専門的な知識を有する相談員が少ないため、相談体制の構築が課題となっている。	広域連合への移行準備として専門員を配置した相談窓口の設置を行った。	平成28年から消費者相談業務を広域連合へ移管していくため、当面は、現在不足している消費生活専門員の育成を東三河の他市町と協力しながら行っていく。
	30606010		801,321	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	消費者支援推進事業		4,557,478	高い				
			10,330,018	高い				
			1,896,093	普通				
	8,433,925	普通						
						改善の効果	普通	
						改善の効果	高い	